

お客様各位

株式会社 セゾンテクノロジー
HULFT テクニカルサポートセンター

PIMSYNC の同期処理で読み取ったアイテムが 同期対象サーバーに書き込まれないことがある問題について

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
PIMSYNC において、任意のユーザーを削除した際に、すべてのユーザーについて同期処理で読み取ったアイテムが同期対象サーバーに書き込まれないことがある事象が判明したため、ご報告申し上げます。
PIMSYNC をご使用のお客様は、下記内容をご確認ください。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

- － PIMSYNC
※ご利用のすべてのバージョンが対象です。

2. 影響範囲

- － すべてのアダプタ

3. 発生事象

同期処理で読み取ったアイテムが同期対象サーバーに書き込まれないことがあります。

4. 発生条件

ユーザーを削除した際に発生することがあります。

詳細

以下二つの仕様のうち、前者に不具合があり、事象が発生します。

- ユーザーを削除する際に、削除されるユーザーに紐づくアイテムも削除されます。
- PIMSYNC が同期処理で読み取ったアイテムは、同期対象サーバーに書き込む前に一時的に保持されます。

削除するユーザーに紐づくアイテムが削除される際に、一時的に保持される読み取ったアイテムも削除されます。

この際、本来であれば、削除するユーザーに紐づくアイテムのみが削除されます。
しかしながら、現状では不具合のため、すべてのユーザーのアイテムを削除されます。

このため、ユーザーを削除するタイミングで以下に該当するアイテムが保持されている場合、すべてのユーザーで、読み取ったアイテムが同期対象サーバーに書き込まれない事象が発生します。

- 読み取り処理で読み取って書き込む前のアイテム
- 再読み取り処理で読み取って次の同期処理で書き込む前のアイテム
- 同期対象サーバーに書き込みできなかったため、書き込みが成功するまで保持しているアイテム

今回の事象によって不正に削除されるアイテムは、書き込む前に一時的に保持されているアイテムのみです。同期処理が終了し、同期対象サーバーに書き込まれたアイテムは影響を受けません。

また、事象が発生した場合、正常に読み取られたアイテムが削除されて書き込みが実施されないため、PIMSYNC サーバーログ、同期タスクログにはエラーが出力されません。

5. 回避策

本件の問題に対応する修正パッチをリリースしました。

myHULFT から下記の修正パッチをダウンロードし、ご利用の環境に適用してください。
適用手順は修正パッチに同梱の README ファイルをご参照ください。

- パッチ名：PIM22SP7_241204_07
- リリース日：2024 年 12 月 4 日
- 対象バージョン：PIMSYNC 2.2 SP7

6. 当ご案内に関する問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2024 年 7 月 26 日	初版作成
2024 年 12 月 18 日	5. 回避策 修正パッチのリリースについて記載しました。 6. 今後の対応 修正パッチリリースに伴い、記載を削除しました。 7. 当ご案内に関する問い合わせ先 「6. 今後の対応」の削除に伴い、項番を修正しました。